

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/26 （7/19との比較）	7/26 （7/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.47% （▲0.04）	82.56円 （+0.11%）	+1.3% 2019年1Q	1.75%	発表された卸売売上高は市場予想を下回る内容。イラン情勢をにらんで原油価格が底堅く推移する中、カナダドルは対円で上昇。IMF（国際通貨基金）が世界の経済成長見通しを小幅に下方修正する中、国債利回りは低下。	GDP（国内総生産）や製造業PMI（購買担当者景気指数）、国際商品貿易などが発表予定。米国では大方の予想通り利下げが実施されるとみられる中、債券・為替市場はともに現在の水準を是んだ展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	6.29% （▲0.08）	28.77円 （+0.09%）	+0.5% 2019年1Q	6.50%	発表された経常収支は予想を上回る大幅赤字となり、FDI（海外直接投資）は市場予想を大きく下回る内容。年金改革により景気が持ち直すとの見方も台頭する中、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	鉱工業生産や貿易収支などが発表予定。市場では利下げ観測が台頭しているため実施された場合も市場への影響は限定的と予想。また、引き続き年金改革関連の解決に向けた動きはレアルにはプラスの材料になるものと予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.34% （+0.01）	5.71円 （+0.82%）	+1.3% 2019年1Q	8.25%	発表された小売売上高と貿易収支は市場予想を上回る内容。IMFの経済成長見通しが大幅下方修正される中、ロペスオブラドール大統領は従来の見通しを据え置く。メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	GDPと財政収支、製造業PMIなどが発表予定。移民対策などの政治動向や格下げの可能性なども注目されるものの、高金利通貨であり相対的に選好されやすい通貨であることから、メキシコペソは引き続き底堅い推移を予想。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/26 （7/19との比較）	7/26 （7/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.23% （▲0.12）	75.12円 （▲0.96%）	+1.8% 2018年4Q	1.00%	発表された製造業PMIは市場予想を下回る内容。欧州の金融緩和観測が高まり、ロウ中銀総裁が低金利情勢が長期化するとの見通しに言及する中、国債利回りは低下。豪ドルは対円で下落。	CPI（消費者物価指数）や小売売上高などが発表予定。中国などの景気と米国の金融政策の動向などからも目が離せない中、債券・為替市場ともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	1.51% （▲0.06）	72.12円 （▲1.02%）	+2.5% 2018年4Q	1.50%	発表された貿易収支は、特に輸入が低調であったことを背景に市場予想を下回る内容。次回の金融政策決定会合で利下げが実施されるとの見方が強い中、国債利回りは低下。ニュージーランドドルは対円で下落。	企業景況感や消費者信頼感指数などが発表予定。自国に加え、米国やオーストラリアなどの金融政策に関する動向から目が離せない中、債券・為替市場は一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.41% （▲0.06）	12.47円 （▲0.76%）	+2.5% 2019年1Q	1.25%	発表された鉱工業信頼感指数は前月比で低下し、失業率は前月比で悪化する内容。ドイツやフランスなどの経済指標も弱含む状況で、欧州の金融緩和観測が高まる中、国債利回りは低下。ノルウェークローネは対円で下落。	小売売上高や製造業PMIなどが発表予定。自国の経済指標より米国の金融政策動向が注目される中、大方の予想通り米国で利下げが実施されるとみられ、債券・為替市場はともに現在の水準をはさんだ展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/26 （7/19との比較）	7/26 （7/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.47% （+0.33）	7.60円 （▲1.59%）	+0.0% 2019年1Q	6.50%	発表されたCPIとPPI（生産者物価指数）は概ね市場予想通りの内容となったものの、消費需要の弱さから一部に利下げ観測も台頭。大手格付会社が格付け見通しを引き下げ中、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	財政収支や貿易収支などが発表予定。ラマポーザ大統領による政策対応や、数字で目に見える形での景気改善の動きが待たれる中、債券・為替市場は一進一退の動きを予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.64% （+0.11）	0.78円 （+0.44%）	+5.1% 2018年4Q	5.75%	特段注目すべき経済指標の発表は無し。ワルジヨ中銀総裁が低水準のインフレによりさらなる金融緩和の余地があることに言及したものの、国債利回りは上昇。インドネシアルピアは対円で上昇。	製造業PMIとCPI、消費者信頼感指数などが発表予定。当面、国債利回りは緩やかに低下する展開を予想。ジョコ大統領の政策への期待感が高まれば、インドネシアルピアについては底堅い推移を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.46% （+0.14）	1.58円 （+0.90%）	+5.8% 2019年1Q	5.75%	特段注目すべき経済指標の発表は無し。約3年前に導入した破産倒産法の効果が表面化してきている中、今月同法の修正案の承認もなされ構造改革への期待が一部に台頭し、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは上昇。	製造業PMIなどが発表予定。引き続き、停滞感が続く景気の改善に向けたモディ首相の政策と金融緩和効果が期待される中、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

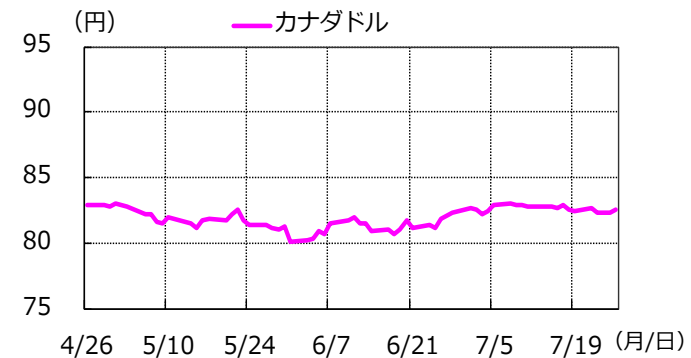
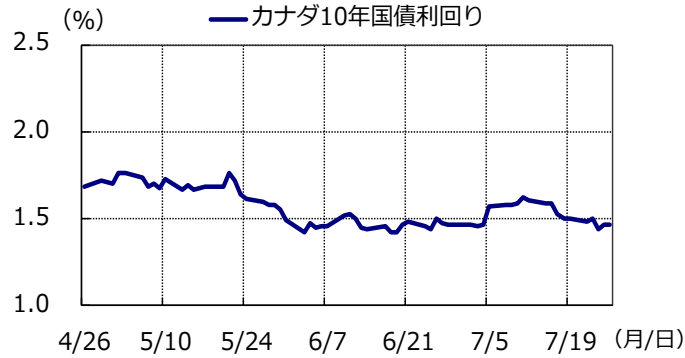
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

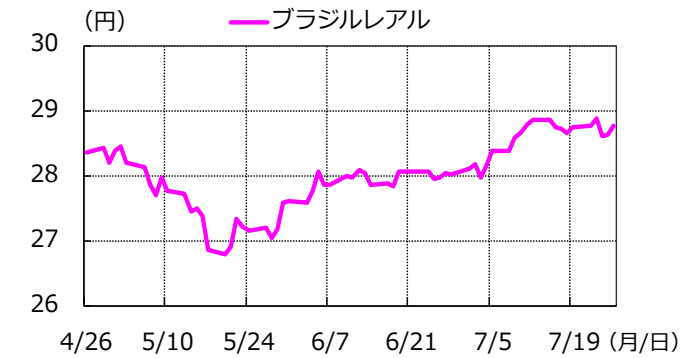
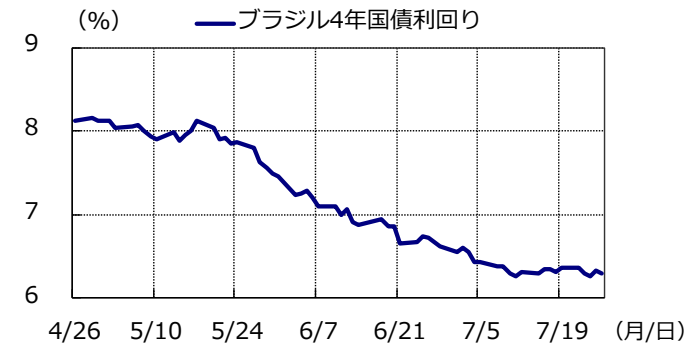
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/4/26～2019/7/26

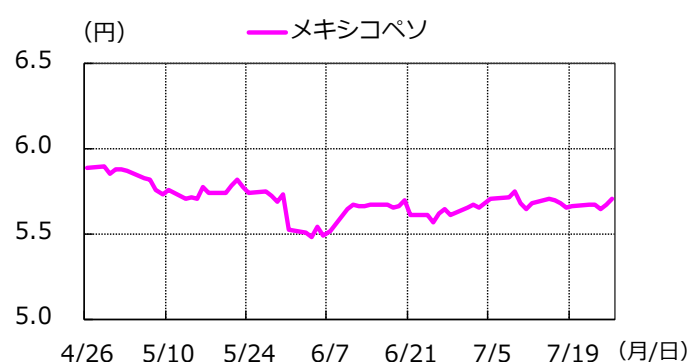
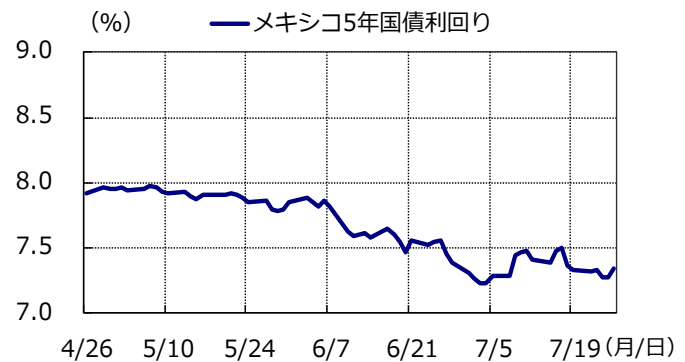
カナダ



ブラジル



メキシコ

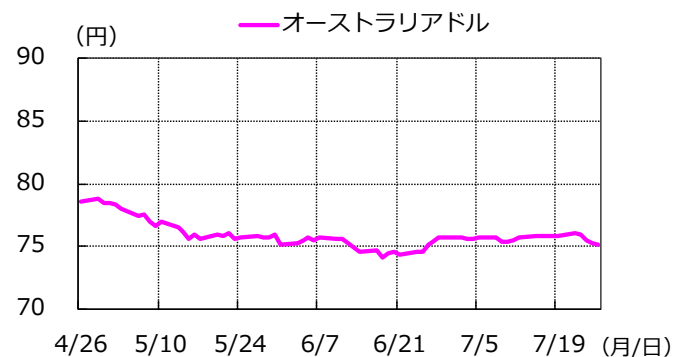
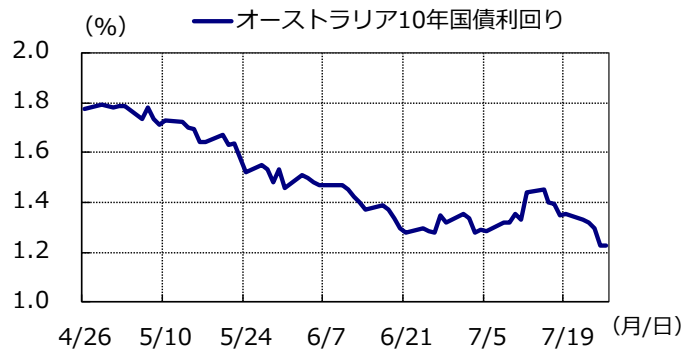


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

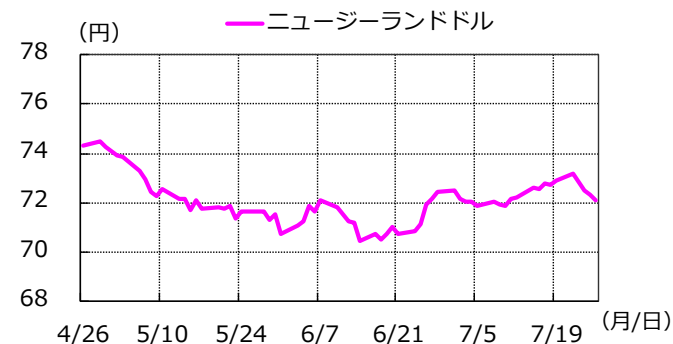
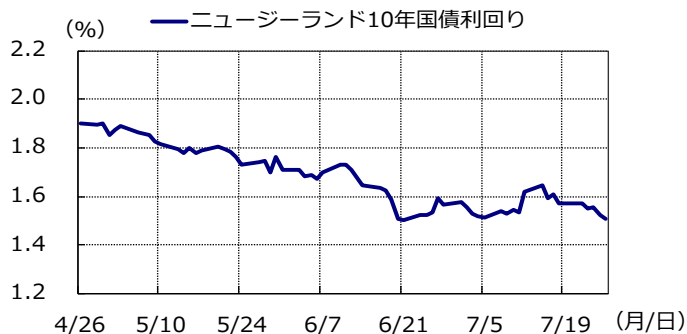
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/4/26～2019/7/26

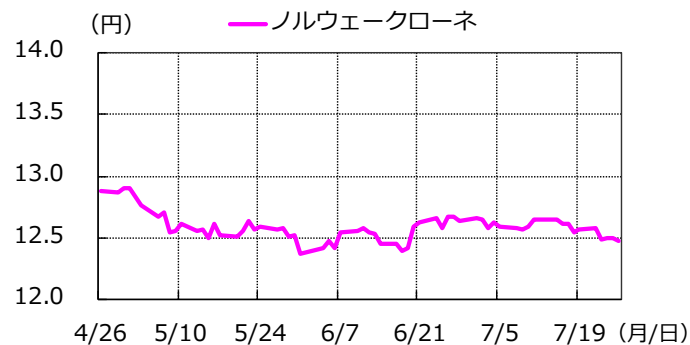
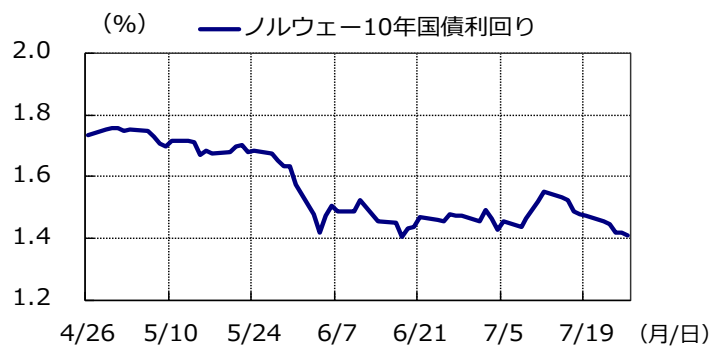
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

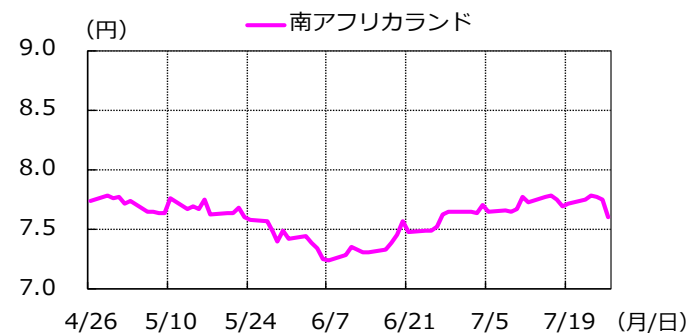
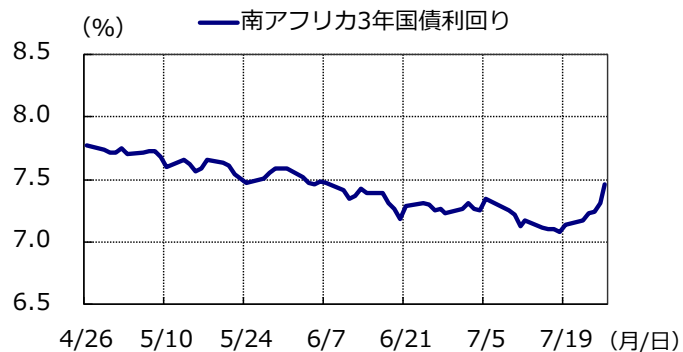


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

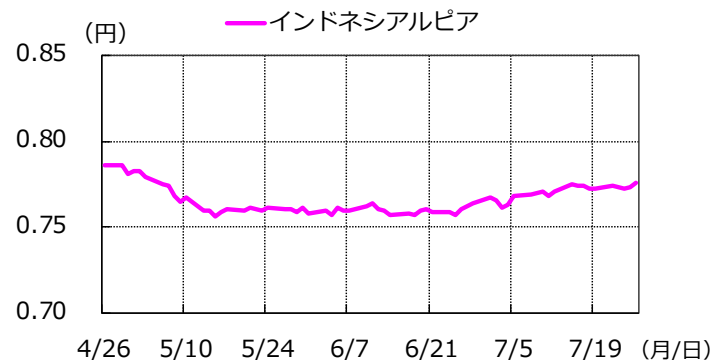
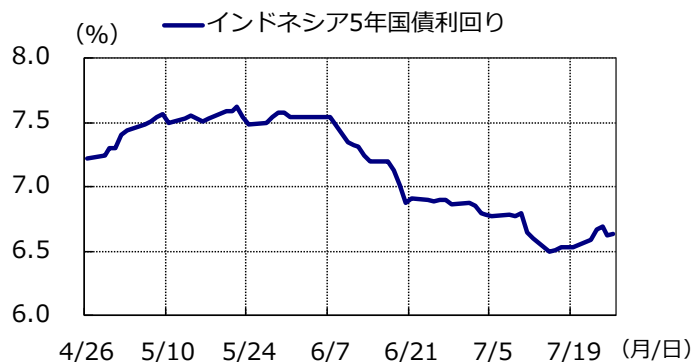
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/4/26～2019/7/26

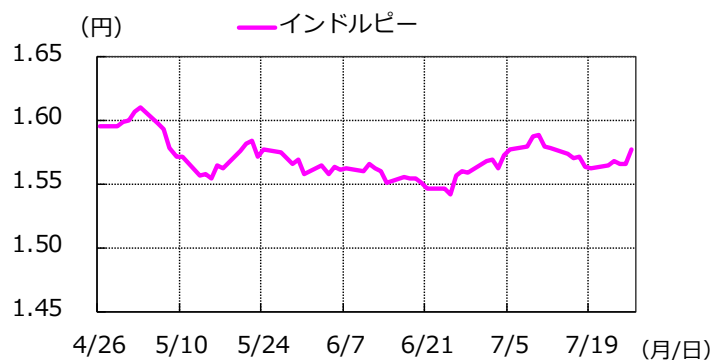
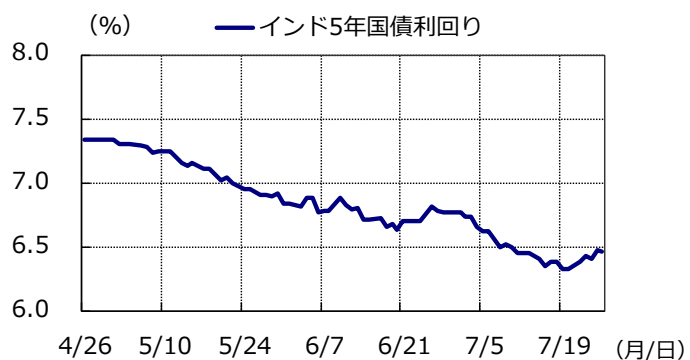
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.052%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、年率2.09%となります。

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。